

【開催報告】 阪南倉庫株式会社「設計倉庫見学会」

～ 29名をお招きし、物流設計に関する取り組みをご覧いただきました ～

倉庫事業を行う阪南倉庫株式会社（本社：大阪府堺市 代表取締役：堀畠浩重）は、2025年11月、大阪中小企業投資育成株式会社様（本社：大阪府大阪市 代表取締役社長：小林利典）3名ほか18社26名を招待し、倉庫見学会を実施しました。様々な商品が出荷されていく流れを、稼働中の物流システムや効率化の工夫、作業場の安全・品質管理などと合わせて紹介し、当社が目指す「設計倉庫」の実現に向けた取り組みをご覧いただきました。

見学会について

当社の倉庫見学には大きく2つあり、一つは就活生を対象とした職場見学会、もう一つは法人を対象とした倉庫見学会です。前者は就活生の職場候補の一つとして、就活生が当社の考え方を聞き、実際に目に触れ、従業員と言葉を交わすことで、ご自分が納得して選考に進んでいただける事を目的として実施しています。後者は新たな引き合いのお客様や既存の荷主様を対象に、物流現場を通じて当社の考え方や安全・品質管理に対する取り組みを体感していただく事を目的として実施しています。

【設計倉庫見学会とは】

ある時、倉庫をご案内中に「実は当社にも同じような悩みがあるので相談できないか?」といった声を聞きました。

このことは、モノの流れだけを説明するのではなく、「●●に困っていたのを、この様に解決した」とご案内する事が、見学者には有益だという気づきになりました。

そこで倉庫見学会を「設計倉庫見学会」と位置付け、見学者ご自身の課題解決のヒントを得る機会にしていただき、当社にとってもお客様に最適な物流サービスを提案～実現する機会とする事にいたしました。

設計倉庫見学会は約1年前にスタートし、梱包材の変更による資材コスト・運賃コストの削減、お客様の受注情報をそのまま出荷指示に活かすためのシステム連携、運送会社様の強みを活かした輸送方法の選択、商品の付加価値を高める流通加工など、当社が長年取り組んできた課題解決の事例を中心にご案内してきました。

現在では引き合い先の企業ご担当者様には物流現場を通じた当社の理解～物流委託の判断材料にしていただき、また荷主様には物流ご担当者様のほか営業部門や購買部門の方々もお招きし、当社の仕組みや考え方につれていただく機会を通じ、円滑な物流運営につなげています。



就活生を対象とした職場見学会



法人対象の倉庫見学会

＜お問い合わせ先＞

見学内容

設計倉庫見学会は以下のスケジュールで実施しました。

①当社代表よりご挨拶

ご来訪のお礼、見学会の趣旨についてご説明

②第1流通センターご案内

特定のお客様専用設計となっている物流の仕組みを紹介

③第3流通センターご案内

多様な商品の特性を考慮しつつ、作業手順の統一を目指す物流の仕組みを紹介

④当社概要・取り組みの説明

企業沿革、これまでの取組みについてご説明

⑤質疑応答

作業事故防止、情報システムの仕組みなど庫内に関する質問のほか、BCPやサイバーテロ対策など外的要因への対策に関する質問など

※②③は2班に分かれて交互にご案内



代表 堀畠より挨拶

今回お招きした方々は業種・業界が多様で、物流現場を初めて見るという方も多くいらっしゃいました。

ご案内した汐見営業所は5つの倉庫があり、商品の特徴や商流の違いによりそれぞれ機能が異なります。お客様のニーズと課題を把握し、物流の目線から何が有効なのか、お客様と連携し進めてきた取り組みを、実際の現場を見ながらご案内しています。また目に見えない情報の流れはラベルや伝票などを通じてご説明し、モノと情報が一体となった物流管理の仕組みをご覧いただきました。

見学会の最後にはアンケートへの回答にも協力していただきました。その中で、初めて物流現場を見た方にも大変わかりやすかったとの評価を頂き、庫内の整理整頓・従業員の挨拶に多くの高評価を頂戴しました。

一方、情報量が多くその場で吸収しきれなかったり、設備の音が大きくて聞き取りにくい場所があるなどのご指摘も率直に開示していただくなど、今後より良い見学会にしていくための気づきを数多く得る事ができました。本当にありがとうございました。

今後も当社では全国各地の物流事業者様や機器メーカー様などと連携し、情報を軸にお客様にとって最良な物流サービスの設計・提供に努め、お客様の経営に寄与する物流の実現に尽力いたします。



商品の受け渡しプロセスの説明



ワインに特化した物流の仕組みの説明

最後に、大阪中小企業投資育成株式会社様には今回の見学会開催にご協力賜り、誠にありがとうございました。

<お問い合わせ先>